

「北海道インフラゼロカーボン試行工事」 の取組状況について

令和5年2月6日

北海道開発局



北海道開発局ホームページへはこちらから。



総合通信局

農政事務所

森林管理局

経済産業局

開発局

運輸局

環境事務所

北海道

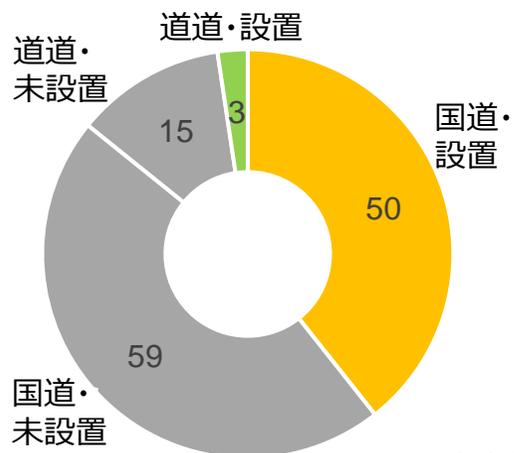
目的

○次世代自動車の普及を促進させるため、道の駅設置者である市町村や道の駅管理者と連携し、「道の駅」に急速EV充電施設の設置を目指す。

活動

○設置意義等の普及啓発及び相談対応や、整備事例、活用可能な国の補助金等の情報提供等に取り組む。

道内「道の駅」の急速EV充電施設設置率は約4割（53/127）



活動状況

- 第1回WT (R4.4.26)
- 第2回WT (R4.7.26)
- 第3回WT (R4.10.3)
 - ・普及促進活動で得た課題の対応策について検討
- 商業施設での普及啓発活動
 - ・道庁主催の『次世代自動車・省エネ・新エネ機器展示会』において、急速EV充電施設の普及促進の取組み紹介、充電施設の展示を実施
 - ・日時 R4.11.15～11.17
 - ・場所 アリオ札幌ハーベストコート

▼チラシ



▼イベント実施状況



▼充電接続デモンストレーション



担当

経済産業局：地域経済部製造・情報産業課、資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課

開発局：建設部道路計画課◎

環境事務所：環境対策課

北海道：環境生活部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課、経済部環境・エネルギー局環境・エネルギー課、建設部建設政策局建設政策課

北海道インフラゼロカーボン試行工事の取組状況①

- カーボンニュートラル(以下CN)の政府目標及びゼロカーボン北海道の実現には、全ての業態におけるCNの取組が不可避。
- については、道内建設業において率先してCNの取組を進めるため、**当局及び北海道、札幌市発注工事において、「北海道インフラゼロカーボン試行工事」を新設し、工事成績でのインセンティブを付与することで、道内建設業におけるCNの意識醸成を図る。**

R4年度から試行

北海道インフラゼロカーボン
試行工事

①工事開始時(発注者)

工事におけるCO2削減意識を醸成

- ・施工計画書にCO2削減に資する取組の記載を求める(建設機械、材料、工法等)

※施工計画書：必要な手順や工法等について工事着手前に受注者が発注者へ提出

②工事実施(受注者)

各工事においてCO2削減の取組を実施

- ・施工計画書に基づき、具体的なCO2削減策を実施(建設機械、材料、工法等)

CO2削減に向けた好循環
道内建設業における
カーボンニュートラルの意識醸成

③工事終了時(発注者)

工事成績におけるインセンティブ付与

- ・CO2削減の取組を工事成績にて評価【1点】(建設機械、材料、工法等)

④建設業団体との意見交換(発注者)

課題等について建設業団体と意見交換

- ・CO2削減に向け、工事成績のインセンティブのあり方や改善点等について建設業団体と意見交換

⑤更なるCO2削減に向けて(発注者)

建設業団体との意見交換等を踏まえ、
次年度の実施方針を検討

- ・更なるCO2削減に向けて、次年度のインセンティブ付与条件等の取組内容を検討

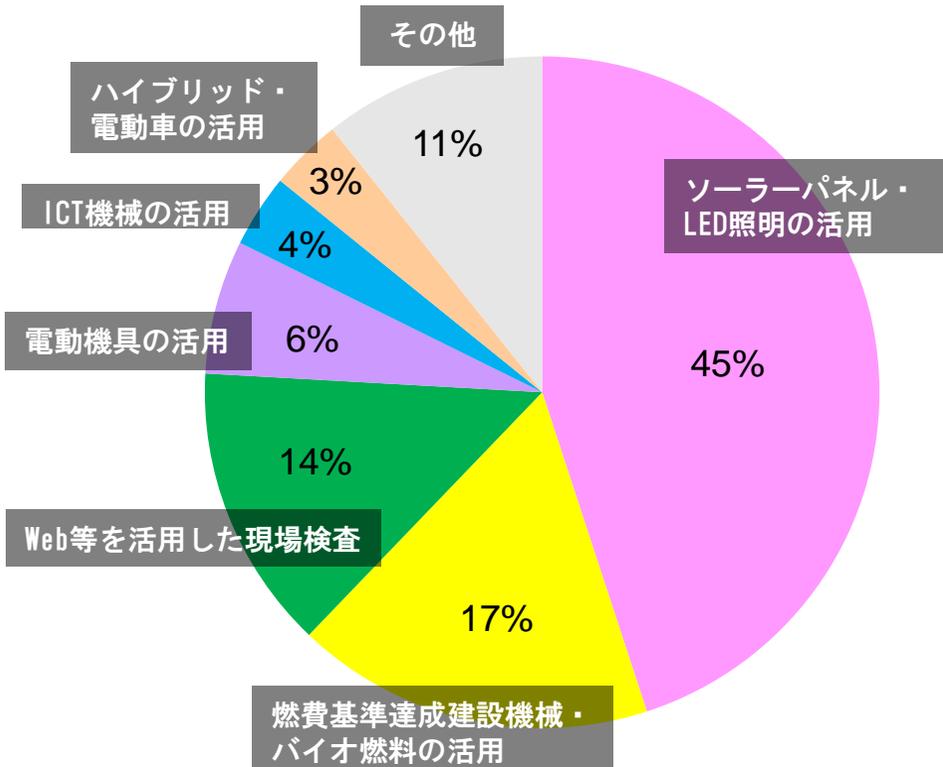
※図は北海道開発局における取組内容

ゼロカーボン北海道の実現へ

■取組実施率は8割に！更なる取組に期待！

○対象工事1,493件中、試行取組件数は1,200件で実施中（10月末時点：北海道開発局）

取組項目



▶ソーラーパネル・LED照明の活用



▶燃費基準達成建設機械・バイオ燃料の活用



▶Web等を活用した現場検査



▶電動機具の活用



▶ICT機械の活用



▶ハイブリッド車・電動車の活用



■新たに「JRTT」「NEXCO東日本北海道支社」が取組に参画

- 「北海道インフラゼロカーボン試行工事」に、北海道開発局、北海道、札幌市に加え、新しく「鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）」、「NEXCO東日本北海道支社」が加わり、取組を推進。

■更なる意識醸成に向け、統一ロゴマークを現場に掲示

- 建設工事関係者の意識醸成だけでなく、「ゼロカーボン北海道」の取組を広く道民にも知っていただくことを目的に、10月から北海道、札幌市と連携して、試行工事を対象に統一のロゴマークを掲示。今後はJRTTとNEXCO東日本北海道支社も実施予定。

＞現場等での掲示例



＞建設機械での掲示例



令和〇年度 〇〇工事



北海道インフラゼロカーボン試行工事